

## 第10回 市民と議会の意見交換会（要旨）

### 【総務文教常任委員会】

- 1 開催日 令和7年5月25日（日曜日）
- 2 会場 市役所大会議室
- 3 議題（テーマ）（1）防災について  
（2）生涯学習施設について  
（3）市の情報発信について
- 4 議員 5名  
筧 智也、坂上清一、天木義人、渡辺宏行、八幡元弘

【午前の部】 参加者 12名

意見交換内容（主な発言）

「防災について」

○参加者

災害避難場所には避難者の寝泊まりに対応できる備品はどれくらいあるか。

⇒議員

令和3年に各戸に配布された防災ガイドブックの裏表紙には、収容人数1人あたり4㎡計算で7,684人（※県施設3,639人と合わせ、計11,323人）とある。全人口を賄う数量としては足りていないのが現状である。

○参加者

いつ賄える時期が来るのか。

⇒議員

一度に避難するような災害自体が稀であると考え。現在の避難場所の設定は災害の種類に関わらず同じ場所になっている。大災害に対する対応や整備については、今年から配置された気象防災アドバイザーが今後見直し等を行っていくと考えられる。

○参加者

各避難所にはテント等の準備はあるが、女性の着替えなどの用途であり、プライベートを仕切るものではない。また、避難所運営は市が行うものではなく、避難者が自主的に行うものであり、各集落にいる防災士を中心に進めることが基本となる。

○参加者

能登半島地震の際、ふれすぽ胎内の開錠が遅かった。対応はどうなっているのか。

○参加者

今は各避難所にキーボックスが設置され、区長や防災士など複数の方で対応できるようになっている。

○参加者

4点あり、①地震の際に液状化する箇所と対策は。②倒壊の恐れのある通学路のブロック塀の対策は。③河川敷の雑木の処理は。④災害時に消雪パイプの井戸を用いて対応できないか。

⇒議員

①点目について、新潟地震の際に乙地区においてもそのような症状は特に見られず、現時点での対応はないと考えられる。(※大出地区に一部液状化した箇所があった) ②点目について、市でも注意を呼びかけ、補助金を活用しての対応をお願いしているが、結局は個人での資金対応となる事柄であり、強制執行もできない。

⇒議員

③点目の河川(胎内川)の対応は県となる。県も予算内で順番を決めて動いている。

⇒議員

④点目について、同じような問題について市に質問した議員もいる。答えとしては、井戸を掘ったが水脈がないのか、枯れてしまったのか、水が上がらないため、消雪パイプ路線を機械除雪に切り替えて対応しているとのこと。現状として井戸は使えないようだ。

「生涯学習施設について」

- ・局長より資料を用いて建設候補地の選定理由について説明

○参加者

嘉平山は楕円山脈断層帯が近くにあるが、これについてはどういう見解か。

⇒議員

担当課による説明では、新発田広域事務組合による最終処分場建設の地層調査時に、併せて嘉平山についても調査、説明を受けた際、危険箇所は活断層の左右150m以内であり、建設予定地は400m以上離れているため、とりあえず大丈夫であるとの話であった。

○参加者

過去の新潟地震や8.28水害の際に国道7号線より山側は土砂災害が起きたことから、国道7号線より山側に建設することは考えられない。しっかりとした地盤に建設するべきではないか。

⇒議員

我々も全員協議会にて説明を受けた際に、避難所としての活用や避難経路などについて質問している。市でもパブリックコメントを6月17日まで募集しており、そういった

思いなどを伝えていただけたらと思う。

○参加者

他市町村にある生涯学習施設は駅に近いものが多いと思う。中・高校生が待合時間に利用できる。最近行った他市の生涯学習施設は、図書館や屋内遊具施設やカフェなどこんな施設があったらいいなと思いながら帰ってきた。それに比べ、本計画は誰をターゲットにしているのか分からない。自動車利用者であれば中・高校生は無理、自転車利用としても山へ向かって行こうとは思わない。駅周辺に土地がないことは理解しているが、そこをどうにか考えることを頑張ってもらいたい。

○参加者

図書館などを利用するお年寄りは、徒歩か自転車、のれんす号を利用するしかない。そういったことも考慮するなど、高齢者にも配慮してもらいたい。

○参加者

利用者目線を大事にしてほしい。学生の下校時やお年寄りの自転車圏内、市役所や医療機関を利用したついでに寄れるなど。例えば旧体育館跡地とか。先日の新聞にいきなり嘉平山を予定地として計画を進めているという新聞記事が出て、慌てて本日来た次第である。1月頃に基本計画などがあるようだという噂は聞いていたが、ここにきて決まったように新聞記事にされていたので、もう間に合わないのかと思いつつ、ぜひ再検討をしていただきたいと伝えに来た。

○参加者

ふれすぽ胎内の横が良いのではないか。広い土地はまだ多くある。

⇒議員

誰でも行ける施設となる必要がある。様々な候補地はあるだろうが、最大公約数として候補地を選定していく必要がある。

○参加者

詳細が分からないので教えてもらいながら話をしたいが、この生涯学習施設の話はいつごろから始まったものか。

⇒議員

プロジェクトチームとして2017年から。基本計画ができたのは最近（※令和7年3月）である。

○参加者

そもそもこのような施設は必要なのか。少子高齢化で利用者が減っていく中で、維持管理も含めて45億円もかける必要性が分からない。場所云々の前に市議会議員はそういったことに目を向けるべきではないか。

○参加者

私もそう考える。産業文化会館を改装するとか利用料を下げるなどで、使いやすいよ

うにしてくれればよいのではないか。また、子ども達が利用しやすいところに考えるべきだ。今の子どもたちが使いづらい施設になれば、10年後の子ども達も使いづらいに決まっているだろうから、しっかりと考えてもらいたい。

○参加者

質問が3つあるが、①計画に延床面積 4,000 m<sup>2</sup>とあるが何階建てになるのか。また、駐車場は何台くらいを計画しているか。②地の利をしっかりと考えてほしい。子ども達やお年寄りが利用することをあきらめるようなことにならないように。のれんす号だけでは厳しいと思われる。③中学校統合の話も聞こえてくるが、旧体育館跡地もその候補地としていると思われるが、そのすぐ隣に施設があることで、学習に使えたり思い出の地となったりするのではないか。それらも考えて候補地を考えるべきではないか。

○参加者

生涯学習施設より統合中学校を先に建設したら良いのではないか。

⇒議員

皆さんから候補地（嘉平山）について厳しい意見を頂いていると感じている。本日お越しの皆さまは、嘉平山という候補地に対して反対であるように受け取っている。

○参加者

先日、産業文化会館にて生涯学習施設についての説明会があるということで、私も声が掛かって参加してきた。市議会議員は新聞記事の内容を承認したということか。

⇒議員

承認する、しない以前の問題であり、パブリックコメントを募集している最中に、このような新聞記事が出ることで自体がフライングだと感じている。パブリックコメントでは場所の意見がかなり出てくると思っている。議会でも議論していないにもかかわらず、我々にも知らされずに新聞記事が出た。

○参加者

この新聞記事だけを読むと、議員の皆さんが賛成したものと受け取った。

⇒議員

だからこそ、こういった会を開いて皆さんの意見を聞く段階である。

○参加者

中学校統合の話との関連はあるのか。

⇒議員

一旦整理して話をさせていただくが、我々市議会議員は、市民の皆さまの代表として意見など言わせていただく立場として、場所については嘉平山で本当に良いのか、代替案としてここはどうか、内容については平屋か複層階かなど、多岐にわたり意見のやり取りをしている。市もパブリックコメントとして皆さんから意見をいただき、今後どう

計画していくか、今はまだその状態である。先日新聞記事が出たからこそ、本日の会に多くの参加者があるだろうと予想していたし、実際そうであった。また、統合中学校の件は大変デリケートな案件であり、地域の祭事や根付く問題、また通学距離の問題など様々なことを考慮し、教育委員会で議論している最中である。今年始めて来年完成するような内容ではないため、まだ我々にも細かいところは示されていない。ただ、大体どのくらいの時期に計画ができて設計・建設し、開校したいというレベルのものしかできておらず、建設予定地の決定すらもされていない。併せて嘉平山についても候補地というだけで決定しているわけではない。執行部もこの地でなければならないとは考えていないとのことだ。

○参加者

場所選定が決定ではないとしたら、ともすれば中条高校の跡地を県から払い下げてその場所にとりいう可能性も良いと思うが。

⇒議員

中条高校は現在存続しており、そういった話はありません。

○参加者

新聞記事の市長コメントに「市民がイメージしづらければしっかりと伝えていきたい」とある。市長の腹の中ではもうあるのでは。

⇒議員

事前に担当課に確認したところ、市長は絶対そこでなければならないとは言っていないとのことであった。

⇒議員

パブリックコメントについてお願いしたい。現在、生涯学習施設に対するパブリックコメントの募集を行っているが、現段階で十数件とのこと。ホームページからもダウンロードできるし、市役所各所の窓口にも用紙があるので、ぜひ応募していただきたい。その声をまとめたものを、遅くとも7月上旬までに公表したいとのこと。

○参加者

この計画案の今後のスケジュールから見ると、来年には基本設計となっている。それなのにこの段階でこの状況ということは、もう既に決まってい進めているとしか思えないのだが。

⇒議員

だからこそそのパブリックコメントであり、市民の皆さんの声を聞いている段階である。

⇒議員

今後のスケジュールも案であり、様々な意見が出て見直しが必要となった場合、建設を含めて設計等も先送りになるだろう。

○参加者

パブリックコメントを出せというが、関わりや興味がある人しか書かないと思う。例

えば市報にコメント用紙を添付して、郵送料無料で意見徴収するなどするべきではないか。

○参加者

個人的には図書館や公民館は必要と考えているので作ってほしい。ただ、最低限必要なものを選定し、コストを抑える計画にすべきだと思う。場所によっては駐車場もいらないのでは。そう考えると体育館跡地等であれば十分可能であろう。必要なものを精査して要望を聞くということが大事ではないか。

⇒議員

我々に示されるのは基本計画が終わった段階であり、「いる」「いない」の振分け段階においては話がないのが今までの流れである。とにかく皆さんから声を出していただきたい。

○参加者

申し訳ないが豊かな自然とか必要ない。他市では駅に近い。

⇒議員

新しく作るとなると要望通り何でも入れようとする。だからこそ、これだけの高額になっていく。

○参加者

説明会の際に、近隣市町の図書館利用者数などの説明を受けたが、当市は桁違いに少ない。そんな中でこれだけの予算を用いるのはいかがか。近年小学校を新設してきたがいずれ廃校になることを考えると、生涯学習施設運営の未来に不安を感じる。

⇒議員

小学校は廃校にならない。それは極論である。

⇒議員

市報にコメント用紙を付けたらよいのではという意見も出たが、パブリックコメントをする際には、本日資料として付けている基本計画(案)の概要版などを読んでから書いていただく必要があるため、この資料を各戸に添付して意見を徴収することは厳しいものがある。そのため、市報ではホームページからのダウンロード、あるいは各所窓口にてお願いしますとしている。また通常のパブリックコメント募集期間は1カ月程度とのことだが、執行部でも重要視している案件であり、今回は2カ月という期間を設けるとのこと。

○参加者

パブリックコメントの公開は本人のみか。

⇒議員

一般に公開される。

⇒議 員

フィードバックされたかを確認することも必要だ。意見を挙げたにも関わらず、その意見が載ってないということは問題である。

○参加者

ほのぼの茶屋が閉鎖となったため、公民館に移して活動を継続することだが、利用する高齢者には階段のみで2階にトイレがない施設は大変厳しい。考慮してほしい。

○参加者

北本町にあるウオロク跡地なども候補に入れた方が良くと思う。狭いかもしれないが、図書館と公民館施設だけであれば十分ではないか。

⇒議 員

子育て世代には雨天時や降雪時などの遊び場を望む声もある。年代によって要望も違うし、それを詰め込んでいくと当然規模は大きくなる。あれもいらない、これもいらないというのは自由だが、遠くからの利用者は駐車場が必要だ。自分たちの利用を中心とした要望で「あれはある」「これはいらない」ではなく、胎内市全体で考えてほしい。

⇒議 員

パブリックコメント記入の際にある資料には、過去に意見徴収した内容の記載もあるので、確認してからコメントいただけると助かる。

「市の情報発信について」

○参加者

防災行政無線を新しいものに交換中だが、年に数回帰ってくる現在空き家となっている実家への設置を市に願い出たが、所有者の住所が市内でないと対応できないと言われた。今までそのような情報は聞いたことがなかった。結局無料でやってくれるとの話ではあったが、問い合わせないと分からない情報もしっかり発信していただきたい。

⇒議 員

私の周りにも、前の受信機を配布した際にしばらく家を空けていたこともあり、最近までその存在を知らずにいた方もいた。防災行政無線の受信機の存在や対応について、今一度丁寧な発信になるよう伝えていく。

○参加者

先日受信機を受け取ったが、アンテナの件などよくわからず、業者との電話連絡により工事に至って事なきを得たが、そのような細かいところもしっかりと発信してもらいたい。

⇒議 員

総務課に伝える。そもそも今回の受信機配布は各自治会単位での作業であるため、集会所等に集まっての配布か、戸別配布にするのかは自治会に任せている。

○参加者

新築の家に設置する際、アンテナ工事のため壁に穴を開けたりされるのは嫌だとの理由で設置を断る方がいるというが。

⇒議員

基本的に電源を差し込む程度で利用可能のようだが、感度が悪くて業者による工事が必要であれば、そのような場合もあるのかもしれない。ただ、新しい受信機は以前の物より性能が良いと説明を受けている。

○参加者

防犯灯の設置や電気料については、市で100%補助してくれると聞いたことがあるが、実際はどうか。

⇒議員

設置や補修については3分の2の補助が5月末までの受付で、電気料は2分の1となっていると、4月23日に行われた前期区長会議にて説明されたようだ。

○参加者

LINEなどアプリを登録しないと駄目となると、結局一方通行ではないか。会社でも閲覧すら見ない人がおり難しいと思うが、何かしら興味を持ってもらう工夫がいるのではないか。

⇒議員

市では市報などで「こんなことやります」と発信しているのだが、若い人たちは市報すら見ないで、「なんでこんな良いことをしているのに教えてくれないんだ!」と言う。自分たちから情報を取りに行ってもらわないといけない。これは難しい問題だ。

⇒議員

市民の皆さんが何を求めているか、こちらは分からない。何かしらアクションがないとリアクションできない。それぞれ発信していただく必要がある。

○参加者

防災アプリを入れているが通知音が大きすぎてびっくりする。どうにかならないか。

○参加者

受信者側で変更可能。

⇒議員

今のシステムはどんな情報でも音が鳴る。可能かは分からないが、緊急とそうでないもので音が変わられるものも良いのかもしれない。

○参加者

最近、大学や企業において外国の方が増えてきているが、その様子などについてよく分からない。各地域などでトラブルなどあるのかもしれない。住んでいる人数など開示されているのか。私が知らないだけなのか、そういった情報はどのようになっているか。

⇒議員

確かに外国人登録者は増えている。担当課で把握はしているが、あえて市報等で公開はしていない。確認した時点では360人程で、大半が技術習得者と学生とのこと。

○参加者

市のルールや地域のことなどが伝わっていないか不安である。

⇒議員

市報は日本語オンリーだが、市の窓口対応などには力を入れていくとのことを進めているようだ。

○参加者

4月6日の東京胎内郷会に参加した議員はいるか。

⇒議員

(数名挙手)

○参加者

息子が首都圏勤務のため出席を申し出たが案内が本人に届かなかった。当日雅叙園に行った際、会場が変更になっていたにもかかわらずその連絡もなかった。市で発信して市で受け付けたものなのに、初めて参加する人に対して優しくないのはいかがなものか。

⇒議員

しっかりと担当課に伝える。

【午後の部】 参加者 7名

意見交換内容（主な発言）

「防災について」

○参加者

1点目、地域への防災対応補助金がすごく良かった。地域の防災委員をやっているが、集まってどんなことに補助金を使うかを話し合うだけでも結束力が高まるし勉強にもなる。2点目、市の施設の防災対策について、非常階段や非常口の状態が悪い。不要と思われる粗大ゴミも多いが、新担当が来てから改善の方向にある。担当者の長期在籍が意識低下の要因かもしれないので、定期的な異動などが必要とも考えられる。市で管理されている多くの施設に対する意識向上対策を定期的に行うことも必要だ。またチェック体制も担当1人で済ませるのではなく、複数で行うことも大事だと思う。広域消防の点検に関する指示書の保管もさることながら、関係者に回覧するなど徹底すべき。消火器の使用期限切れの物もあったため、今春に改善された。

⇒議員

総務文教常任委員会でも以前に所管施設を視察した。その際は老朽化に対する視察であり、避難経路等裏側への案内はなかったの確認はしていなかった。情報をいただき感謝する。

○参加者

通路までは消防署の管轄ではないと思うが。

⇒議員

いつ頃の話か。

○参加者

最近である。外部非常階段の草も刈ってもらった。

「生涯学習施設について」

・局長より資料を用いて建設候補地の選定理由について説明

○参加者

質問が8つくらいある。順番に解答願いたい。①旧柴橋小学校跡地との比較資料の作成者は誰か。②市内様々な場所を確認したが、嘉平山だけはあり得ない考える。それに関連する項目で質問する。総務文教常任委員会で現地視察をしたとSNSで見たが、その報告書は出るのか。③嘉平山で決定なのか。天木議員の質問に対する答弁に「検討委員会の賛同をいただいた」とあるが、検討委員会は現在ないはずだ。それを確認したか。④旧柴橋小の駄目な理由について、議員の考えは言わないのか。⑤他の候補地の良い、悪いを述べずにパブリックコメントを求めるのは乱暴ではないかと考える。また、議員からもパブリックコメントを提出する考えはあるか。⑥いきなりパブリックコメントを募集するより、アンケートを先にすべきと考える。市がやらないのであれば地域や議員

がすべきではないか。⑦市長のフェイスブックで「関沢地区は有力な候補地と捉えているが決して確定ではない。よって設置場所については今後の統合中学校の設置場所を考慮しておかなければならない。」といきなり中学校の話と絡めてきた。

⇒議員

①については、天木議員が作成した。②については、すでに提出済みで、議長確認が終わっているので近日中に公表される。③については、市長答弁の中のもので、過去に開催された検討委員会の際の賛同ということ。④については、市長の見解と捉えている。

⇒議員

12月の一般質問にて、広報はどうするのか聞いた際、後ほど機を見て説明する場を設けることを考えていくと答えていたが、パブリックコメントの募集を始めた。

○参加者

市民が知らない状況から、いきなり嘉平山に決定したような新聞記事が出た。

⇒議員

基本方針が示された際に議員にも説明があった。議員からの一般質問時の答弁にも、検討段階から嘉平山は候補地に挙がっていた。但し中身については全く決まっていない状況で、検討委員会での意見を反映して出された方針がついこの前である。

○参加者

地域選出の議員が、地域で説明をするなどをするべきではないか。そこで出た意見を更に市と話し合っていくのが仕事ではないか。あと、本当に嘉平山までの広さが必要なのかも疑問。体育館跡地など、道路の広さの問題等々で様々な考えはあるだろうが、もっとしっかり地域に伝達して意見を吸い上げ、市民半分くらいの人が納得した上で進めるべきと考える。

○参加者

出生数が100人程度の現在、今後の学校統合を視野に入れ、その近くに建設するのが通例。多くの年齢層が集うことができる施設のはず。嘉平山への坂道を自転車で登ろうと思う人がいるのか。議会でも質問が出たインフラ整備にかかる予算なども考えていく必要が当然ある。10年後、20年後を見据えたプランをしっかりと考えていただきたい。

○参加者

検討委員会にて協議したとあるが、どんなメンバーだったか教えてほしい。

・局長より簡単に説明

図書館や公民館などの利用者、また学校関係等からピックアップされた方々である。

○参加者

検討委員会というよりも、様々な年代の方々が集まりワークショップ形式で夢を語るという場であった。コロナ禍もあって立ち消えになったように感じている。その後、議会だよりにて嘉平山に決まったような新聞記事を見て驚いた。また天木議員の一般質問に対する答弁の中で「検討委員会から賛同いただき」とあったが、ほぼ休まずに検討委

員会に参加していたが、開催時に一度も嘉平山の名前が出たことはないはず。だからこそ本日の会に参加した。

○参加者

ワークショップで意見徴収したとしても所詮述べ 80 人ほど。それで2万7千人の意見としてまとめるのは無理があるのではないか。発信される情報がほとんどない中で、新聞記事のようにほとんど嘉平山に決まったように伝えるのはおかしい。

○参加者

新聞記事の内容は決定ではないということをはっきりと伝えてほしい。この新聞記事を読んだ人は、ほとんどがここに決まったと勘違いしている。

⇒議 員

建築面積も決まっていないが、様々な要望を盛り込もうとすると嘉平山ぐらいの広さが必要。併設して子どもが遊べる公園も作るとなると尚更である。子育て世代からの要望も盛り込む。

○参加者

そういう話になると、学校の統合も考え、それを踏まえて同じような所に学校を建設し、バスで一気に運ぶなどを考えないと難しいと思う。

⇒議 員

現段階での問題は、内容の精査よりもまずは場所である。半年とない時間軸の中でいきなり嘉平山の名前が出て、4月9日の全員協議会にて資料の事前配布もないなかで嘉平山を考えているがどうかという話になった。距離の件、害獣の件、複層階の考えはあるかなど様々な質問が出たが、今後考えていくとの返答のみだ。

○参加者

市長へは取材されたのか。新聞記事になるということを知っているのか。

⇒議 員

それについて我々は知らない。市長の権限だ。ただ勝手に新聞記事にする訳はない。コメントも載っている。決まっていないことを新聞記事として出すからおかしなことになる。

○参加者

一度この案を引っ込めてははじめから考え直すことはできるか。

⇒議 員

ひっこめるのは執行部の仕事で、我々にその権限はない。

○参加者

議員の決議が必要な事案ということでよいか。

⇒議 員

議会は予算について決議する。撤回する・しないは執行部が決めること。

⇒議 員

嘉平山はあくまで候補地なので替わる可能性はある。替わった場合も含めて今一度、

前向きに意見を出してもらえないか。

○参加者

ここに出席した体験を大いにパブリックコメントに反映させるべきだ。

○参加者

我々はこの会に出たから候補地だと認識できたが、先ずはこの場所が決定ではないと広く発信してほしい。そうでなければパブリックコメントを書くことすらできない人が多いと思う。防災行政無線でも何でもいいから市長の声で「この新聞記事は間違いです。」と伝えてほしい。

⇒議員

そのような声も含めてパブリックコメントとして挙げてもらいたい。記入用紙の他に基本計画案の概要版や基本計画案の大元もあるので参考にさせていただき、市内各所施設やホームページからのダウンロードなどで行えるので、皆さまの協力をお願いしたい。場所の話も含めた意見でよい。

⇒議員

様々な意見を受け、担当委員会として現地視察も行っており、報告書として挙げているので確認してもらってもよい。

○参加者

嘉平山は見学することができるのか。

⇒議員

市有地である以上勝手に立ち入ることはできないが、例えばパブリックコメントに「現地が見たい」との意見が出れば、ひょっとしたら現地視察ツアーなど開催される可能性もある。また、状況によっては設計や建設の時期が先送りになる可能性もあるため、スケジュールありきの計画ではないということを了承いただきたい。

○参加者

新しい施設に求めるものは多々あるが、防犯カメラの設置を必ず行ってほしい。市の施設にも数回不審者が出ている。また、本離れに対して若い人たちの意見が聞きたい。出版業者が疲弊している中、今より蔵書を増やすと明記しているが本当に必要か。時代に逆行しているのではないか。小・中・高校生への貸出率は低く、それぞれ学校の図書館で賄っている。アンケートを取るなどして先のことを考えてほしい。

古い書物が現代のニーズと合っていないものも多い。古文を訳したものや医療系の物などの選別も引っ越しの際にしていきたい。

韓国の例だが、屋外にフリーで使える無料健康器具などがあると良い。

「市の情報発信について」

○参加者

議員の中で情報発信している方が少ないようだが、どうなっているのか。

⇒議 員

議会モニターの方から情報発信は重要とのアドバイスを受け、最近はインスタグラムなど行っている議員はいる。参加者の皆さまも検索すればヒットすると思われるので、その際は見ていただけたらと思う。

○参加者

LINE について、全国に発信できるようにした方が良い。富山県鯖江市などはメガネの町として発信している。

市内にある施設などの各種看板に、説明ができる QR コードを付けるべきだ。

⇒議 員

市報や議会だよりでは QR コードの添付を始めている。

○参加者

情報発信が地味なように思う。4月から胎内市を舞台に映画撮影されていた「おばあちゃんの秘密」のチラシを見ても知らない人が多くいた。有名人が来るロケ風景などの情報を発信して観光につなげるなどするべきではなかったか。

⇒議 員

「おばあちゃんの秘密」映画作製に際し、制作側から市に協力依頼はあったが、市側の判断で受け入れしないことで決定したため、市からの情報発信がないのが現状。詳細は我々も聞かされていない。当然エンドロール等にも市の名前は入らない。

○参加者

様々な媒体で情報発信されているとのことだが、受け取る側が取らなければそれは情報発信したことにならないのではないのか。防災行政無線も使い始めの頃は制約が多かったようだが、最近は多岐にわたり情報発信してくれているように思う。SNS に対応できていない高齢者にもわかるようなやさしい情報発信をお願いしたい。

市報と議会だよりだけは読む。だからこそ検討委員はそんなこと言っていないと気付けたが、その際の情報を各地域で広めてほしいと言われてもいない。

○参加者

市の LINE 登録者は何人くらいか。

⇒議 員

議員は把握していない。(※登録者数 1,092 人)

○参加者

議会開催等の案内を LINE で配信すれば Youtube 映像など、閲覧者が増えるかもしれない。編集でピックアップ動画などにするともっと良いかも。

⇒議 員

編集やアップの作業は、議会事務局でやっている。

○参加者

防災行政無線の取替の期間が長すぎていつ来るか分からない。どうなっているのか。

⇒議員

各自治区での対応となるため、区長に確認願う。

(※) については、意見交換会終了後に確認したものです。